

那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.20

平成21年5月7日発行

元気なまちづくりは那珂市の農業から



平成21年那珂市議会第1回定例会

議決した主な議案等	2ページ
平成21年度当初予算を審議	4ページ
委員会レポート	6ページ
市政を問う 11議員が一般質問	7ページ
請願・陳情の審査結果	13ページ
第2回定例会開会予定	14ページ



発行／那珂市議会
編集／議会広報編集委員会
〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5
TEL 029(298)1111(代表)
FAX 029(298)6287
MAIL gikai@city.naka.lg.jp
URL <http://www.naka.lg.jp/>

パスポートの申請受付・交付事務を実施 補正予算など承認・可決



平成21年第1回定例会

(3月10日～3月24日)

3月10日 本会議
(閉会中の委員会報告など)

3月11日 本会議
(議案の審議・議決など)

3月12日 総務常任委員会
産業生活常任委員会

3月13日 建設常任委員会
教育厚生常任委員会

3月16日 議会運営委員会

3月17日 本会議
(一般質問 5名)

3月18日 本会議
(一般質問 4名)

3月19日 本会議
(一般質問 2名)

3月24日 本会議
(委員長報告、その他議案)

議案件数と結果

市長提出議案 (42件)	
条例関係	12件 (すべて可決)
予算関係	23件 (すべて可決)
その他議案	7件 (すべて承認・可決・同意)

議員提出議案 (5件)	
委員会報告	3件 (すべて可決)
意見書	1件 (可決)
選挙	1件 (指名推選 当選決定)

その他議案	
請願・陳情	4件 (13ページ参照)

条例制定・改正

パスポートの申請受付・交付事務を実施

県からの権限移譲により平成21年6月1日から、パスポートの申請受付・交付事務を実施することになりました。

また、申請窓口で収入印紙及び茨城県収入証紙の売りさばき事務を行うことにより申請者の利便性の向上を図るため、印紙等購買基金条例を設置しました。

市民との協働のまちづくりの基金条例が制定

市民との協働のまちづくりを推進し、地域や市民の活動並びに国際的視野に立った人材育成及び国際交流の推進を図るため、那珂市国際交流基金条例を廃止し、新たに那珂市市民活動基金条例を設置しました。

介助犬など身体障害者の生活を補助する犬の登録手数料が免除になりました

身体障害者補助犬法が制定され、道路交通法で定められていた盲導犬に加え介助犬、聴導犬が身体障害者の生活を補助する犬として正式に定められました。

これにより、これらの犬の登録手数料等の免除について定めるものです。



赤塚ミオスタワー内に茨城県後期高齢者医療広域連合があります（JR赤塚駅前）

那珂市政治倫理審査会
委員の委嘱に同意

矢崎 健 鹿志村孝子 氏
寺門 弘道 根本 文雄 菅 氏
瓜 氏 後 氏 園部 昌俊 氏 大 氏 内 谷 氏
綿引 秀栄 瓜 氏 連 連 氏 下大賀 氏
川崎 敏明 豊 氏 喰 連 連 氏
平山 正勝 横 氏 堀 氏
小坪 宏治 中 氏 里 氏
君嶋 寿男 議員

那珂市教育委員会委員
の選任に同意

佐藤 康雄 田 氏 崎 氏
茨城県後期高齢者医療
広域連合議会議員の当
選決定

人権擁護委員を推薦

人 事

補 正 予 算

平成20年度補正予算11件を原案どおり可決しました

▼一般会計

9億7,041万1千円の増額→
総額184億2,605万6千円
定額給付金給付事業などの増額です。

▼国民健康保険特別会計（事業勘定）

3億8,143万4千円の減額→
総額49億9,079万6千円
保険給付費の減額などによるものです。

▼老人保健特別会計

171万7千円の減額→
総額4億0,821万円
医療給付費の減額などによるものです。

▼下水道事業特別会計

1億2,122万5千円の減額→
総額27億4,631万4千円
管渠布設工事費の減額などによるものです。

▼公園墓地事業特別会計

1,871万8千円の減額→
総額1,098万2千円
暗渠排水工事費の減額などによるものです。

▼農業集落排水整備事業特別会計

3,270万7千円の減額→
総額5億7,807万1千円
管路工事費の減額などによるものです。

▼介護保険特別会計（保険事業勘定）

2,488万6千円の増額→
総額28億5,907万8千円
介護従事者処遇改善臨時特例基金の増額など
によるものです。

▼介護サービス事業特別会計

62万円の減額→総額958万円
人件費の減額によるものです。

▼上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計

1,440万円の増額→
総額2億2,030万円
移転補償料の増額などによるものです。

▼後期高齢者医療特別会計

4,896万9千円の減額→
総額3億9,203万1千円
広域連合納付金の減額などによるものです。

▼水道事業会計

資本的収入3,500万円の増額→
総額1億3,852万5千円
資本的支出4,194万円の増額→
総額6億2,268万4千円
老朽管更新事業費の増額などによるもので
す。

平成21年度当初予算など可決 一般会計167億8千万円

平成21年度 那珂市各種会計 当初予算

会計区分	予算額	会計区分	予算額
一般会計	167億8,000万円	介護保険特別会計(保険事業勘定)	30億4,100万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	50億8,900万円	介護サービス事業特別会計	82万円
老人保健特別会計	600万円	上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計	1億8,900万円
下水道事業特別会計	24億9,600万円	後期高齢者医療特別会計	4億3,800万円
公園墓地事業特別会計	1,060万円	那珂地方公平委員会特別会計	45万円
農業集落排水整備事業特別会計	6億8,200万円	合計	287億3,287万円

平成21年度 那珂市水道事業会計 当初予算

収支区分		予算額	収支区分		予算額
収益的収支	収入	11億3,175万円	資本的収支	収入	6,899万円
	支出	10億8,190万円		支出	4億8,406万円

平成21年度の一般会計は、前年度より1億7千2百万円減の予算となりました。

歳入のおもな内容
一般会計予算歳入のおもな内容は、以下のとおりです。

市税については、景気後退等により企業の業績悪化が予想され法人税の減収が見込まれることから減額。

地方交付金については、地方財政計画の増減率を考慮し増額。

国庫支出金については、自立支援サービス給付金事業負担金や民間保育所児童運営費負担金などが増額。

繰入金については、財政調整基金や減債基金からの繰入減により減額。

平成21年度 那珂市一般会計 当初予算(歳入内訳)

▲は減額

款名称	21年度当初	前年比
市税	69億5,745万円	▲2億5,861万円
地方交付税	30億4,900万円	1億0,281万円
市債	19億0,115万円	4億7,761万円
国庫支出金	12億7,456万円	2億1,686万円
県支出金	9億5,773万円	3,299万円
地方消費税交付金	4億7,007万円	3,496万円
諸収入	4億4,674万円	5,611万円
繰入金	3億9,922万円	▲7億5,850万円
地方譲与税	3億1,710万円	▲1,930万円
繰越金	3億0,000万円	0万円
分担金及び負担金	2億9,270万円	▲591万円
使用料及び手数料	1億9,788万円	700万円
自動車取得税交付金	7,820万円	▲5,100万円
地方特例交付金	7,033万円	3,779万円
利子割交付金	3,104万円	▲173万円
財産収入	1,276万円	▲601万円
配当割交付金	964万円	▲2,434万円
交通安全対策特別交付金	900万円	50万円
株式等譲渡所得割交付金	390万円	▲1,334万円
ゴルフ場利用税交付金	153万円	11万円
合計	167億8,000万円	▲1億7,200万円

歳出のおもな内容

一般会計予算歳出のおもな内容は、以下のとおりです。

民生費については、新たに民間保育園建設費補助事業や生活保護費の増により増額。

土木費については、道路新設改良費や街路整備費の減などにより減額。

教育費については、職員人件費や一中コミュニティセンター建設事業などで減するものの、菅谷小学校の耐震補強工事及び額田小学校耐震補強事業、瓜連中学校屋内運動場の整備事業などにより増額。

消防費については、消防施設費や災害対策費の減などにより減額。

平成21年度 那珂市一般会計 当初予算（歳出内訳）

▲は減額

款名称	21年度当初	前年比
民生費	43億7,422万円	2億0,488万円
教育費	26億4,112万円	2,962万円
公債費	22億9,011万円	1億1,350万円
総務費	20億4,509万円	1,429万円
土木費	20億0,413万円	▲3億8,019万円
衛生費	12億5,437万円	▲3,432万円
農林水産業費	9億1,890万円	▲2,236万円
消防費	8億5,732万円	▲1億1,390万円
議会費	2億1,517万円	175万円
商工費	1億6,528万円	1,497万円
予備費	1,427万円	▲24万円
災害復旧費	1万円	0万円
諸支出金	1万円	0万円
合計	167億8,000万円	▲1億7,200万円

常任委員会の審議内容

総務常任委員会の審議の中では、厳しい財政状況のなか財政の健全化に向けた努力が伺えるが、歳出を抑えることは限界に近づいており、歳入の増を図るとともに財源確保をすることが必要不可欠です。歳出では、全庁一丸となつて創意工夫を凝らした事業などメリハリのある予算措置をすべきであるとの意見が出されました。

また、厳しい財政運営を理由に市民に補助金カットや負担等のお願いをしていることから、徹底した節減合理化、事務事業の見直しを要望する意見が出されました。

産業生活常任委員会

委員会の審議の中では、県より権限移譲されるパスポート発給事務について質疑があり、パスポート発給の経験がある者を嘱託

職員として採用し体制を整えるとの答弁でした。

また、横手市との友好都市交流事業について質疑があり、スポーツ交流をとおして子供たちの健全育成を図るほか、災害時には協力体制をとるとの答弁でした。

建設常任委員会の審

議の中では、道路新設改良費で質疑があり、合併特例債を充当する路線が少ないため、単費事業が増えるとの答弁でした。少ない予算で市民要望の多い生活



建設中の一中学区コミュニティセンター

道路を優先的に整備するため、合併特例債を充当できるように予算獲得に努力するよう要望しました。

また、流域下水道負担金について質疑があり、那珂市の流入量年間314万8千mを見込んで維持管理負担金を県に支払うためとの答弁でした。

教育厚生常任委員会

の審議の中では、幼稚園の統合について質疑があり、現在園児数が少ない戸多、芳野、木崎幼稚園の統合を検討しています。統合についてはできるだけ早く計画をたて地元説明会を実施したいとの答弁でした。

また、福祉バス有効利用について質疑があり、現在バスに乗りして運行状況を確認しており、路線内容、時間の見直しを図り有効利用について検討していきたいとの答弁でした。

産業生活常任委員会

継続調査

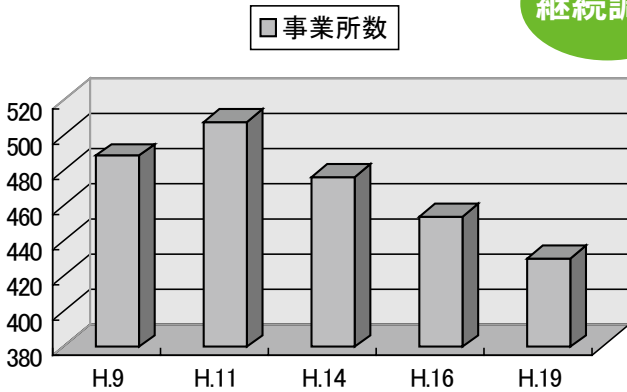
商工業の振興について

今後とも十分調査研究する

2月3日に、那珂市商業振興計画案について審議をし、第1回から第3回までの商業振興計画策定委員会の状況について報告を受けました。

市の商工振興に取り組むためには、行政としてどう関わるか一つの大きな方向性を明確にすることが重要であるとの意見が出されました。

採決の結果、継続して調査すべきものと決定しました。



資料：商業統計調査

那珂市の事業所数の推移（小売）

建設常任委員会

生活道路の早期整備について

道路整備に対する予算を

継続調査

生活道路の早期整備について調査を行いました。

道路整備基準に基づき本申請件数は、平成13年から20年度までで23件で業務完了が7件となっており進捗率は30%です。狭隘道路については、本申請件数は27件あり、業務完了が8件、進捗率は29・6%となっています。

また、市内の道路現状や整備状況を把握するため、5路線について現地調査を行いました。不採択道路、狭隘



申請があった五台地内の道路を調査

道路においても、市街化区域、調整区域の区別なく現道舗装等道路整備を実施すること、道路整備に対する予算措置を十分にすべきであるとの意見が出されました。

採決の結果、継続して調査すべきものと決定しました。

原子力安全対策特別委員会

継続調査

調査事項

- 1 住民の安全確保に関する事項
- 2 周辺環境保全に関する事項
- 3 原子力安全協定に関する事項
- 4 核融合研究施設に関する事項
- 5 その他関連する事項

登録済みウラン・トリウムの取り扱いについて

この件は、平成17年に三菱マテリアル株式会社より同社の関連会社で発見された核燃料物質を、那珂エネルギー開発研究所へ持ち込み試験用試薬として使用したいとの申し出があり、当時の委員会で審議し、ずさん

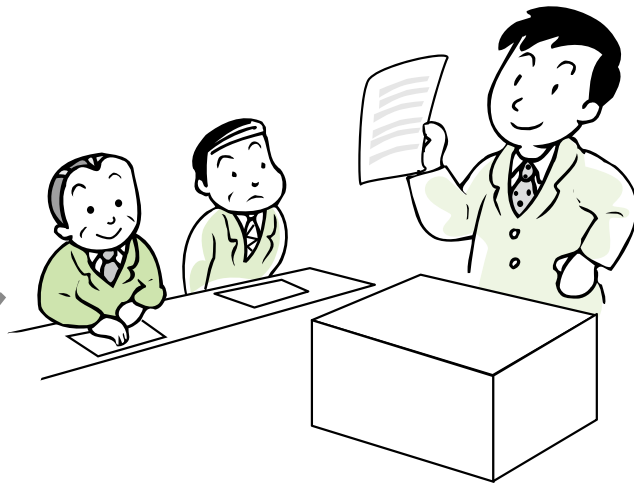
管理などを理由に承認となっていたもので、今回、再度申し出があり、委員会を2度開催し審議を行いました。2月9日の委員会では、原子力安全協定に基づき許認可事項ではないが、核燃料物質の持ち込みであり安易に結論はだせないとの意見により継続調査としました。3月19日の委員会において、執行部では、保管管理に万全の体制を取ることの条件を付して了承したとの報告があり、委員会として、執行部に対し引き続き監視体制を強化することを求め、執行部の報告のとおりとしました。

原子力安全協定に基づく気体廃棄物の放出状況

平成20年度第3四半期（10月1日から12月31日）における気体廃棄物の放出状況については、すべての事業所において放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。

市政を問う

Q
&
A



11人の議員が登壇し、
様々な視点から
市政を問いました。

市が積極的に農地活用の仲介を

今年10月頃には体制をつくりたい

農業後継者の減少により農村の存続が危ぶまれることに対し、市がもっと積極的に対策を講ずるよう一昨年より質問してきました。

今年の本市の耕作放棄地は331ha（農地の7・1％）とのこと

農政課が「農家の土地利用について」の調査をしました。その結果は、今後は後継者がいない農家が約60％、すぐにでもやめたい農家が約17％です。また、農地を貸したり、売ったりする場合に市への登録を希望する農家が多いということです。

市は、この結果を重んじ、農地情報を集め、担い手に提供し、農地集積利用の促進を図る事業を、ぜひ早急に進めていただきたいです。

産業部長 調査結果より、後継者の育成・

農業経営が成り立つ指標の設定・農地の貸借や売買と維持管理の問題・農作業受託組織の立ち上げなどの課題があります。まずは、今回の調査で市内の農地を貸したい人の情報を、担い手に提供する体制を、今年10月を目途につくっていきたいと考えます。



芳野市民農園ではまだ利用者を募集中

質問事項

- 1 農業振興について
- 2 公共施設の活用について



蝦名純子 議員

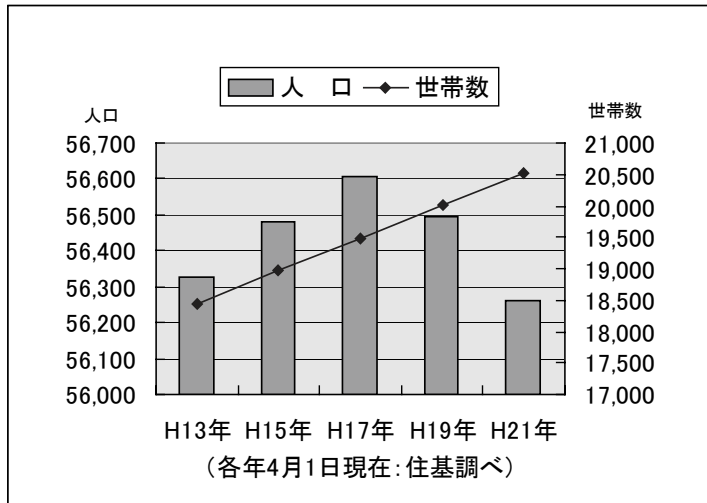
人口減少問題に対する方策は

求心力あるまちづくりを進めます

一般的に少子高齢化問題を考えるとき、人口減少は政策が悪いからだ、人口が減ることは社会を弱体化させ国を滅ぼすものだ、などの従来からの固定観念に執着し、資金・時間を投入して出生率の向上を図らなければならぬとの考えにおちいつてはいませんか。

業はないが、今後も、総合計画にある事業を進めることにより「求心力のあるまちづくり」を進めることが、人口増加に資するものであると考えているところです。

人類史上からも人口変動は特別なことでは無く不可避なこととの考え方もあり、政府は少子化に歯止めをかける程の目立った政策効果をあげていないとの見方が存在し、人口減少問題に対しては試行錯誤を繰り返しているようです。私も難しく重要な課題と認識していますが、市は人口減少にどのように対応して来たのか、又、今後どのような方策をとって行くのですか。



那珂市（那珂町+瓜連町）人口の推移

質問事項

- 1 那珂市総合計画について
- 2 議会答弁について



高畑道英 議員

各課横断的にさらなる自殺対策を

窓口職員を研修し連携を強化する

私は昨年9月議会において自殺対策の充実を訴えました。昨年秋季からの金融危機を発端に景気低迷・雇用悪化が進み、自殺増加が懸念されます。雇用対策はどのようにされていますか。また、自殺対策連絡協議会のような各部各課横断的な対策が必要ですが、まず関連する職員と一緒に研修を受ける学習会を実施してはどうですか。

多い窓口職員を対象にした研修を行い、関係部署間の連携をさらに強化していきます。

産業部長 市内の雇用状況を把握するために雇用形態緊急アンケート調査を実施した結果、本年4月までに50人の非正規・派遣社員が解雇予定であることがわかりました。当市においても厳しい状況ですので、3月から緊急雇用相談窓口を市の商工観光課に設置し、求人情報の提供を行っています。

総務部長 今後、市民と直接接する機会を



2階商工観光課内に緊急雇用相談窓口を設置しています（5月末まで設置予定）

質問事項

- 1 パーキングパーミット制度について
- 2 自殺対策について
- 3 学校支援ボランティア制度について



遠藤 実 議員

医療費の更なる早期拡大を

早急に検討し、早い時期に実施

議員活動の中で、子育て支援については、積極的に取り組んでいる問題であり、拡大している市町村が増しつつあります。総合計画の中で人口推移を見ますと、年々減少しており、子育て支援により歯止めをしなければならぬと思われまます。予算に照らし出るものから実施していくのが行政の仕事であり、予算上からみて何ら問題なく思われまます。医療費については外来を含めると、保護者の負担も大きく、入院費については、義務教育が終るまでは是非那珂市として拡大をしていく検討を。

生まで拡大することは子育てをする家庭に対し、さらなる支援の充実が期待できると思っており、今後、予算や条例等の整備について早急に検討し、出来る限り早い時期に実施したいと考えております。



小沼博恭 議員

質問事項

- 1 子育て支援について
- 2 はだして遊べる公園校庭づくりについて
- 3 学童保育について

学齢児童マル福制度(入院時のみ)とは

小学校在学中の児童を対象にしたマル福制度(入院時医療費助成)です。

入院時の保険適用分の医療費のうち自己負担額を超えた分を助成します。自己負担額については1医療機関ごとに、1日300円(月3,000円が限度)となります。

申請については保健福祉部こども課です。

なお、この制度には父母等の扶養義務者の所得制限があります。

これからのまちづくりについて

自治組織により推進します

市民が地域で安心して生活していくためには、「福祉」、「交通や災害時の安全」、「住民によるまちづくり」は欠かせないものです。しかし、実際に地域でこれらの活動を行っている人は同じ人であることが多いため、別々の組織で進めるのではなく、同じ自治組織の中で、福祉や安全など総合的に推進していくことが効率的であり、住民のためにも望ましい姿です。これからのまちづくりをどのように進めるのか市長にお伺いします。

大きな役割を果たし続けてきた「区制度」を見直し、自治組織へとする移行スケジュールについては、移行期間を1年とし、平成23年4月からスタートさせる方向で検討が進んでおります。



内山さき子 議員

質問事項

- 1 活気のあるまちづくりについて

市長 行政と市民が協働してまちづくりを進めるうえで中心となる担い手は、地域で活動を共にする多くの団体や個人を構成員としネットワーク化した組織体制からなる「自治組織」にほかなりません。これまで長きに渡り地域と行政とを結ぶ



地区防犯パトロール発会式

不法投棄などのゴミ対策について

地域との連携の中で対処します

市内でのゴミの不法投棄が後を絶たない中、現在、正副区長に依頼している「不法投棄監視員」の機能をチェックし、専門スタッフの配置など、より実効ある体制づくりに務めてほしい。また、不法投棄者の検挙等の実績を伺います。

さらに、ゴミに専門的に対処する「ゴミバスター隊」的な特別チームの設置はどうか。市内では「なかなか塾」が県の「道路の里親事業」の認定を受け活動しているが、この事業の那珂市版を作り、地域の自主的な活動を支援できないか伺います。

市民生活部長 監視員活動は、監視・通報防止看板の設置、地域を挙げての清掃活動など効果を上げています。不法投棄監視員は制度そのものを自治会制



民地へ不法投棄されたゴミを地主が分別回収
その収集には市も協力している（木崎市内）

質問事項

- 1 ゴミゼロのまちを目指して
- 2 自治会制度への移行準備状況について



先崎 光 議員

将来の広域合併について伺う

市民の意向を踏まえながら考える

茨城県の将来目指すべき合併パターンは、2大中核拠点を中心とした都市ネットワークの形成が考えられます。水戸市、ひたちなか市を中心とした地域と、土浦市、つくば市を中心とした地域でそれぞれ人口は50万人以上になり、将来は政令指定都市の移行も視野に入れていくとのことです。この50万都市構想と広域合併推進に意欲的なのが水戸市です。

いひたちなか市、東海村あるいは、生活圏として結びつきが強い水戸市との合併パターンが考えられます。今後は、県央地域首长懇話会との連携を深め、市民の意向を踏まえながら考えていきたいと思えます。

平成20年に発足し那珂市を含む9市町村の首长で構成された県央地域首长懇話会は、各自治体を超えて連携体制を強化し、県央地域を発展させることを狙いとしています。今後、総人口72万人となるこの参加自治体との広域合併について市長の見解を伺います。

市長 那珂市は歴史や文化の結びつきが強

年月日	市	町	村	計
平成4年3月3日現在	20	42	25	87
平成6年11月1日現在	19	43	24	86
平成7年9月1日現在	20	42	23	85
平成9年10月1日現在	20	48	17	85
平成13年4月1日現在	21	46	17	84
平成14年2月2日現在	22	45	17	84
平成14年11月1日現在	22	44	17	83
平成17年3月28日現在	26	27	9	62
平成18年3月27日現在	32	10	2	44

茨城県内の市町村数の推移

質問事項

- 1 将来目指すべき広域的な市町村合併について
- 2 定額給付金について
- 3 住民基本台帳カードの普及について



笹島 猛 議員

地域商業の活性化方策について

商工会と連携して取り組みます

米国発の金融危機が、日本の地方経済にも大変深刻な影響を落としております。

那珂市はこのほど、商業振興計画を策定しました。農工商連携のスタートとして、那珂市の花であるヒマワリや那珂市の木である八重桜や那珂力ポチャなどを活用して、ロングセラーとなるような商品を生み出し、地域ブランドの確立をはじめとして、地域ブランドの品質保証である、生産履歴やブランド認証制度を確立してはと考えます。

又、額田などの商業活性化を打ち出しております。額田には史跡、歴史ある神社・寺院、古民家もあり商業者と連携させた観光マップなどを作成して、PRして行くのも一つの方策と思えます。

産業部長 商業振興



芳野直売所の奥に芳野農産工房がオープンしました

計画の中で、農工商連携が必要である議論がされています。ヒマワリや八重桜、那珂力ポチャを活用して地域ブランドの確立、生産履歴、ブランド認証制度は重要なものと思えます。地区に於いても、機運づくりをして活性化に取り組みます。

質問事項

- 1 地域商業の活性化策について
- 2 芳野市民農園について
- 3 今後の合併について



萩谷俊行 議員

生活・地域を守る農業の活性化を

農工商観光のネットワーク作りで

世界同時不況で地方への影響も大きく、市民生活や雇用、地域の活性化は待ったなしの課題です。那珂市としては農業の活性化が地域の活性化につながると思えますが、どのように考えているのか伺います。

産業部長 米の消費拡大では、最も大きな役割を果たしているのが学校での米飯給食なので回数を増やすことです。新しい取り組みとしては、製粉技術の発展により、米粉のパン、めん、ケーキ、ビスケットなどの食品への利用をPRしていきたいと思えます。

市内4か所の直売所の発展を図るためには出荷者の確保、年間を通じた魅力ある品ぞろえ、集客数の確保、組織運営等の課題があります。その課題を解決するには、農業と地場産業、観光を結びつけ

る体制づくりが必要で、農業が異業種と手を組んで、観光のネットワークをつくることでできれば地域活性化につながると思えます。

市長 学校給食における米飯給食は2学期から週3回に増やします。



民話「たっつあい」に出てくる七運汁

具材:れんこん・でいこん・ごんぼう・にんじん・こんにゃく・いんげん・かんぴょう

質問事項

- 1 地域活性化・生活対策について



木村静枝 議員

貴重な文化財の保存、保護活用を

遺漏の生じないよう適切な対応を

教育委員会は、県の遺跡地図を紛失した事により、那珂核融合施設建設に当り貴重な遺跡を3ヶ所破壊した。

また、文化財防火デーにおける査察対象物として弘願寺が合併まで外されていた。更に8年前から建造物として指定した曲がり屋も査察対象物となっていないなど問題が多い。文化財は、我が国の歴史文化の中で生まれ、育まれ、そして現在に伝え守られて来た貴重な財産である。また文化財は一度破壊されると二度と再現することが不可能であるという性格を持っている事から、私達はこれを保存活用し、後世に引き継ぐ責務がある。そこで、文化財保護行政について一層の充実が求められている。

ここで今後の取り組みについて伺う。

教育長 文化財は貴



高野氏館跡(菅谷地内)発掘調査の様子

重なる財産である。これを保護活用し後世に引き継ぐ事は私共の責務である。議員ご指摘の件については、実態、経緯等を十分調査をして、今後遺漏の生じない様適切な対応に務めていく。

質問事項

- 1 文化財保護行政について



石川利秋 議員

パソコン電源の使用要望について

エリア限定で認める検討をしたい

図書館の課題として利用状況・太陽光発電システムの設置・開館時間の延長・国立国会図書館法に定める納本制度の履行・蔵書数の整備・寄贈図書の入力・パソコン電源の提供について質問する。

教育次長 3月1日現在85万人の利用状況である。

財政的負担が軽減された状況で太陽光発電システム設置を検討していきたい。

嘱託職員の増員、利用者のニーズ等を勘案し平日の開館時間延長について検討したい。国立国会図書館法に基づく納本制度の趣旨について周知していく。

蔵書数は現在約9万3千冊である。開架15万冊整備は9年、蔵書30万冊は34年かかる。

無制限の寄贈図書受入れは考えない。利用が見込まれる資料や郷土資料については受け

入れる。

パソコン使用、電源の提供については、多目的室の一部エリアに限定し認める方向で検討したい。

教育長 蔵書の整備予算確保については誠意をもって対応する。



那珂市立図書館

質問事項

- 1 幼稚園統廃合計画について
- 2 道徳教育について
- 3 図書館の課題について
- 4 行財政改革について



海野 徹 議員

意見書を提出

1 件の意見書を議決し、関係機関へ提出しました。

現行保育制度の堅持・拡充と 保育・学童保育・子育て支援予算の 大幅増額を求める意見書

(意見書要旨)

急激な少子化の進行のもとで、次世代育成支援に対する国と自治体の責任はこれまでも増して大きくなっている。

しかし、保育制度改革論議は保育の責任を後退させる改革論であり、こうした改革がすすめば保育の地域間格差や家庭の状況により子どもが受ける保育レベルにも格差が生じる。子どもたちの健やかな育ちを保障するためには、国と自治体の責任で保育・学童保育子育て支援施策を大幅に拡充することである。

よって、次の事項の具体化をはかれよう、強く要請する。

- 1 児童福祉法第24条に基づく現行保育制度を堅持・拡充し、直接契約・直接補助方式を導入しないこと。
- 2 保育所最低基準は堅持し、抜本的に改善すること。
- 3 待機児解消のための特別な予算措置を行うこと。
- 4 保育所、幼稚園、学童保育、子育て支援施設関連予算を大幅に増額すること。
- 5 子育てに関わる保護者負担を軽減すること。

意見書提出先

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、
厚生労働大臣、少子化対策担当大臣

那珂市議会を「那珂市公文書の開示等に関する条例」の実施機関へ追加を求める陳情

陳情の概要は、那珂市公文書の開示等に関する条例の実施機関に那珂市議会を明記することを求めるものです。

審議の内容は、那珂市議会は当初より開かれた議会を目指しており、委員会の公開の実施や政務調査費の収支等は条例で閲覧することができることから、既に透明性は図られているとの観点であったが、条例で実施機関に含めていないというのは、市民から疑問をもたれるのも当然のことであるとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、採択とすべきものと決定しました。(議会運営委員会)

陳情者

那珂市竹ノ内1-16-1
那珂オンブズマンの会
代表 渡辺 健一 ほか2名

採 択

請願・陳情の審査結果

4 件の請願・陳情を審査しました。

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

陳情の概要は、「共同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定に向け意見書の提出を求めるものです。

審議の内容は、市議会の本来果たすべき職責は市民の意見を反映させることであり、那珂市に実態のないものを採択し意見書を提出することは無理があるとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、不採択とすべきものと決定しました。(産業生活常任委員会)

陳情者

さいたま市南区南本町2-5-15
協同労働の協同組合ネットワーク
いばらき準備室
代表 横山 哲平

不採 択

現行保育制度の堅持・拡充と 保育・学童保育・子育て支援予算の 大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書

陳情の概要は、保育制度の拡充と予算増額について意見書の提出を求めるもので、前回の委員会で継続審査となった陳情です。

審議の内容は、子どもたちに良好な保育環境を保障するには現行保育制度の堅持・拡充と子育て支援等予算の増額を要請すべきとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、採択とすべきものと決定しました。(教育厚生常任委員会)

陳情者

つくば市花畑3-9-10
茨城県自治体労働組合連合
執行委員長 石引 正則

採 択

介護保険に関する請願書

請願の概要は、介護保険制度を誰もが安心して利用でき、安心して働ける職場づくりを求めるものです。

審議の内容は、介護制度に関する内容は、那珂市だけの問題ではなく、広域的に捉えるという観点から内容についてさらなる調査が必要であるとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、継続審査とすべきものと決定しました。(教育厚生常任委員会)

請願者

水戸市城南3-15-24 みのわビル3F
茨城県社会保障推進協議会
代表委員 洪谷 敦司

継続審査

議 会 日 誌

1 月		2 月	
15日	広報編集委員会	3日	産業生活常任委員会
20日	議会運営委員会	4日	建設常任委員会
23日	広報編集委員会	5日	茨城県市議会議長会議員研修 (水戸市 5名の議員が参加)
26日	水戸梅大使来庁	6日	教育厚生常任委員会
		9日	原子力安全対策特別委員会 議会運営委員会
		13日	議員会研修 (J-PARC、常陸那珂港)



※ J-PARCとは
東海村の東海研究開発センター原子力科学研究所敷地内にある大強度陽子ビームを利用した最先端科学の研究施設です。

平成21年第2回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
6・2	火	本会議 ○開会 ○継続審査・調査案件の委員長報告 ○請願・陳情の委員会付託など
6・3	水	本会議 ○議案審議など
6・4	木	常任委員会
6・5	金	常任委員会
6・8	月	本会議 (一般質問)
6・9	火	本会議 (一般質問)
6・10	水	本会議 (一般質問)
6・12	金	本会議 ○委員長報告など ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程の変更や詳細については、議会事務局や議会ホームページでもご案内いたしております。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月22日(金)までにお願いいたします。

議会の傍聴について

那珂市議会では、議会の本会議・常任委員会を公開しております。

傍聴をご希望のかたは、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。傍聴の手続きは、所定の用紙に住所・氏名を記入していただき、傍聴券の交付を受けるだけです。お気軽においでください。

3月定例会の傍聴者数70名(延べ人数)

議会の会議録について

議会の本会議の会議録は、公開しており、閲覧することができます。

議会ホームページには、平成17年3月以降の議会定例会の会議録を掲載しております。

誌面レイアウトが一部変わりました。

「那珂市議会だより」の誌面が本年度より若干かわります。今まで質問者一人について2問までを1ページに掲載していましたが、二人の質問を1ページに1問ずつ載せることにしました。

木村 静枝
経済がこわれ、人心がこわれ、政治不信が募っています。しかし、こういう時こそ一人ひとりが政治に関心を持ち、自分にできることから行動を起こしていくことが大切ではないでしょうか。そのため資料となるよう「議会だより」の充実と、読みやすいものにしていくために、広報委員一同頑張りますのでよろしく願います。

編集後記

議会広報編集委員会
委員長 木村 静枝
副委員長 蝦名 純子
委員 中庭 正一
委員 萩谷 俊行

表紙に寄せて

3月29日(日)に芳野農産工房と市民農園の竣工式典が開催されました。地域農業の活動拠点として、大いに期待されています。